

「葉國璽」私費外国人留学生奨学金の創設に寄せて

若き日、台湾からの留学生として、本学医学部で学んだ葉國璽氏。

平成21年度に新設された「葉國璽私費外国人留学生奨学金」への思いや

「自身の学生時代、そして、整形外科医としての今後について語っていただきました。」

医療法人社団 錦昌会
ちはら台整形外科院長

葉國璽
(本学医学部卒業)

紆余曲折の若き日、 多くの人々に支えられて

私は台湾の花蓮で生まれました。22歳で台湾大学農学部卒業。当初の目標は、農学博士を取得して母校台湾大学農学部の教授でしたが、時代の変化が激しく、島国台湾の農業発展は極めて厳しくなりました。そのため、目標を変えざるをえませんでした。2年間の兵役を終えた後、一旦、アメリカへ渡り、カリフォルニア大学で国際関係論の勉強をしました。しかし、理系から文系へ転向しても興味がわかず、途中であきらめました。

途方に暮れていた時、台湾大学時代の恩師、豊地正枝先生・台湾大学日本語学教授や、日本へ留学経験のあった先輩の徐永銭教授の強い勧めで、昭和58年(1983)、交流協会の奨学金試験を受け日本に留学しました。この年、中学校の同級生だった妻林麗卿と結婚しました。当時、小学校の教師をしていた彼女は、私が台湾、アメリカ、日本と転々とする中、いろいろ苦勞をかけた。内助の功にとても感謝しています。

長崎大学医学部に入学したのは、昭和62年(1987)のことです。入学1年目の夏、長男が誕生。妻は翌年、長崎大学経済学部に入學しました。卒業までの6年間、夫婦とも毎日勉強、家事、育児、それにアルバイトで忙しく、同級生と

の付き合いもほとんどありませんでした。そんな中、多くの方々が優しく、心温かく励ましてくれました。お一人おひとりの顔をいまでもしっかり覚えており、その恩を忘れたことはありません。

心に残る医学生時代のエピソード

大学生活での唯一の楽しみは、後席の横路健君(広島大学病院皮膚科)と前席の山本浩一君(長崎大学病院小児科)と一緒に、昼休みに研究室に入入りすることでした。中でも、片峰茂先生の細菌学教室と、医動物学教室はもともとお世話になったところです。研究室の先生たちとの交流はとても楽しく、過去、現在、未来の話を、豪快に縦横無尽に語り合いました。

私は、紆余曲折を経て、現役生に9年遅れて医学部に入学したわけですから、学生時代は一種のハンディを感じていました。しかし、それがかえって目的意識を明確にさせ、前向きに頑張る原動力になつたと思っています。

感謝の気持ちから、奨学金設立へ

今回、私の長崎大学への寄付金を、葉國璽私費外国人留学生奨学金として、活かしていただくことになりました。



左から葉國璽氏、片峰茂学長、小路武彦留学生センター長。昨年3月、東京で開催された「長崎大学全学同窓会・懇親会」にて。



長崎大学医学部

なぜ、母校に寄付しようと思ったかと申しますと、今日私が整形外科医として世の中に少しでも貢献できるのは、長崎大学が私を受け入れてくれたことがその原点にあるからです。入学以来、常に感謝の気持ちを抱き続け、いつか恩返しをしたいと思っていました。2008年、細菌学教室でお世話になった片峰先生が学長に就任なさった際、お祝いを兼ねて寄附をさせていただきましたが、長年の思いを叶える良いきっかけとなりました。

願わくば、留学生の皆様もいろいろな教室を出入りして、先生たちと盛んに交流し、人生の糧を得られればと期待しております。また、私の両親は、常にお世話になった人の恩を決して忘れてはならないと教えています。同じことを皆様にも伝えたいと思います。

整形外科医としての天命

現在、私は、千葉県市原市にて「ちはら台整形外科」を開業しております。また、隣接する千葉県緑区にて「千葉こどもとおとなの整形外科」も運営しております。少子高齢化を迎える日本の医療環境において、いかなる年齢層にもかわる整形外科は、その重要性は増すばかりです。整形外科病院の開設は私のライフワークでもあります。目下、千葉市に「葉整形外科病院(仮称)」の平成23年春の開院をめざして、多忙な日々をおくっています。

今年50歳で天命を知る私の目標は、「葉整形外科基金の設立」です。母国台湾や中国、日本の若手整形外科医の交流や交換留学を促進するための基金です。勤労して、感謝するのは私の座右の銘ちなみに、私の開院記念日は、11月23日の勤労感謝の日です。今後も、目標をめざして尽力してまいります。

「葉 國璽」私費外国人留学生奨学金について

本奨学金制度は、長崎大学の次期基本目標である「地球と人間の健康と安全」に資することを目的に、本学に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により修学又は研究が困難である者に対し、葉 國璽氏の協力により設立されたものです。

1 応募者及び受給者の資格

対象：大学院及び医学部医学科に在籍する私費外国人留学生
資格：次の各号のすべてに該当する者

- ①学業、人物ともに優れ経済的理由により修学又は研究が困難な者
- ②研究科長又は医学部長の推薦のある者
- ③他の奨学金(貸与奨学金、奨学一時金及び研究助成金を除く)を受給していない者又は受給予定がない者
- ④配偶者がいる場合は、当該配偶者に月額10万円以上の収入がない者
- ⑤長崎大学の次期基本目標である「地球と人間の健康と安全」に関連する領域について学修又は研究する者

2 募集人員

11名
医歯薬学総合研究科及び医学部医学科5名
教育学研究科、経済学研究科、国際健康開発研究科より各1名
生産科学研究科3名
(原則として工学系・環境科学系・水産学系より各1名)

3 奨学金の額及び支給期間等

- ①給付月額 50,000円
- ②支給期間 受給者として決定した年の4月から3月までの1年間

平成21年度の募集は終了しました。平成22年度の募集期間や応募手続きなど、詳しくは所属部局の学務担当係までお問い合わせください。